

矢野富士雄議員

質問 平成30年西日本豪雨の経験を踏まえた上で、市の防災行政について

質問 放課後児童クラブ「学童保育」について

に至った経緯とその反省点、また、今後の方針について問う。

おり、県も福地川や藤野川の改修事業を行つてゐる。

である現状から、高齢者に特化した割引は困難であると考える。

昨年の西日本豪雨では、遠賀川が越流・決壊してもおかしくない状況となり、市内全域に避難指示が出された。

そこでこの経験を踏まえ、本市の防災行政がどのように変わったのか、対応策や予算を含めて問う。

支援員の資格や配置員数の基準が緩和されることから、支援員の質の低下も懸念されるが、これに対する市の対応、また本市の待機児童の現状とその対策について問う。

答弁 業者からの提案で、12月限定で家電製品を返礼品に追加した結果、多額の寄附が集まつたものの発送が遅れ、寄附者や市民の皆様に大変なご迷惑をお掛けしました。

甚大な被害が頻発しており、早急な取り組みが必要であると認識している。

今後は、国や県と連携して川端川流域の浸水対策に取り組んでいきたい。

質問 高齢者乗車券の制度 創設について

答弁 自治区長や消防団などの検証会議及び市民アンケートを基に市役所内部についても検証し、災害対策

本部や連携体制の強化などを見直した。また、昨年の災害では約3000人の方が避難して避難所が混乱したことなどを踏まえ、避難所となる小中学校及び要配慮者などへの対応や支援を行う部署の増員を行つた。

を配置する基準を設けてい
る。また、高い賃金の保証
と労働環境の確保に努めて
いる。

本市は低地が多く、国営河川の氾濫が市民生活を脅かす状況になつてゐる。そこで、近年の災害状況と国県が管理する河川の整備

本市のイメージアップやふるさと納税の増大につながる取り組みを行い信頼の回復に努めたい。

高齢者の社会参加を支援することを目的とした制度が各地で取り組まれているが、本市においても、その一環としてタクシーやコミュニティバス、その他の公共交通にも使える「高齢者乗車券」制度の創設を求める。

答弁

昨年使用した資機材や備蓄食料の補充を含め、約1800万円の防災関連予算を計上している。

本市は、過度な返礼品を取り扱ったことがふるさと納税の趣旨に反することとなり、国から指導を受ける結果となつた。

答弁 昨年の7月豪雨では、市内で90棟の家屋浸水被害が発生した。

関係各課と慎重な議論が必要であると考える。



子どもが犠牲になる痛ましい事件や事故が各地で発生しているが、本市においても、通学路を含めた安全性の確保及び向上は重要である。

答弁 本市では、各学校が通学路を点検後、「直方市通学路安全推進協議会」への要望を通して危険箇所への対応を行つてゐる。また、直方市通学路交通安全プロ grammに取り組んで通学路の安全向上を図つてゐる。

今後も学校での安全教育と地域の協力を継続し、児童生徒の安全安心に努める。

て 質問 直方市の農業について

減反政策からの転換により、再び米を作りだしたことから米の単価も下がるなど、農業だけでは生活が苦しい状況である。高齢化や後継者不足、また米の値上げもできず、このままでは農業従事者がさらに減るのはないかと危惧する。

そこで、本市が取り組む米粉を初めとした農業施策について問う。

答
市では、主食用米の代わりに米粉用米・飼料用米・麦・大豆の作付を計画しており、国の交付金を有効活用して農業者の所得向上に努めている。また、後継者不足による遊休地の増加に対し、地域の担い手への農地集積・集約化を行い、持続性のある地域農業の実現に向けて取り組んでいる。

本市から北九州市若松区へと走る「直方北九州自転車道」が開通間近となつており、「飯塚直方自転車道」と「遠賀宗像自転車道」を含めたコースは、サイクリングストの注目を集めている。そこで、開通時期や自転車活用に関する市の見解、また、県との連携策について問う。

質問 地域内経済循環について

答弁 直方北九州自転車道は今秋を目標に県が整備を進めている。

健康増進や自治体の魅力発進など様々な利活用が考えられ、サイクリストだけではなく、市内外の一般の方やインバウンドも対象として市域の活性化につなげていきたい。また、県としては自転車道開通イベントでの連携を図っている。

答弁 本市が発注する公共工事や物品・役務などの調達については、直方市中小企業振興条例に基づき市内事業者に優先して発注している。この条例の見直しについては、制定の経緯や内容を検証し、市長の諮問機関である直方市中小企業振興審議会の中で議論したい。

共助で行われていた水路の清掃管理が、高齢化や地域コミュニティーの弱体化によりできなくなってきたおり、市への清掃依頼が増加している。この傾向は今後も加速していくものと思われる。

そこで、現在の維持管理の方法やしゅんせつの状況について問うとともに、市

現在の進捗状況と完成時期のほか、建設に当たつて地場企業との兼ね合いについて問うとともに、今後、下水道の普及に伴い1日当たりのし尿の搬入量も減少が予想されるが、市が運営していくのか。または民間に委託するのかについて問う。

駅前のシャッター街化の活性化について質問
中心市街地活性化に伴う未利用地の活用について質問
駅前のシャッター街化のように、飲食店街（有楽町）も店舗数が減少してきている。
そこで、耐震化した後に空き地となつている御館橋の下に、話題性のある屋台村などをつくり、飲食店街の活性化を図るために行政の協力は必要不可欠だと考えるが、市の見解を問う。

車道が開通間近となつて
おり、「飯塚直方自転車道」と「遠賀宗像自転車道」を
含めたコースは、サイクリングの注目を集めている。
そこで、開通時期や自転車活用に関する市の見解、
また、県との連携策について問う。

答弁 本市が発注する公共工事や物品・役務などの調達については、直方市中小企業振興条例に基づき市内事業者に優先して発注している。

この条例の見直しについては、制定の経緯や内容を検証し、市長の諮問機関である直方市中小企業振興審議会の中で議論していく。

答弁 しゅんせつの依頼件数は年々減少傾向にあり、側溝の整備や下水道の普及が進み、生活環境が改善傾向にあると思われる。直営や指定管理者に委託、また、入札業者に発注するなど限りある財源の中で工夫をしていかなければならぬ。

また、総合評価落札方式において、「地元企業との協力・連携」という評価項目を設けたことにより、今回の工事において、市内業者へ、約16億円の発注が見込まれる。

さらに、公共下水道事業の進捗に伴い、搬入される、し尿は減少が見込まれるが、浄化槽汚泥などは引き続き排出されると考えられ、今後の管理運営体制について慎重に検討を進めよう。

う面での機能を担っていた。
だいていると認識している。

屋台村などの活性化策につ
いては、有楽町としての具
体的な総意としてご相談い
ただき、課題について一緒に
検討すべきだと考える。

紫村博之議員

質問 本市の教育に対する
市長の基本的な考え方につ
いて

児童虐待やいじめ、不登
校など課題が山積する中、
市長は所信表明において、
「産炭地からの後遺症に悩む
本市の現状、ますます社会
の中で格差が拡大している
現状を考えたとき、対応策
としては教育こそ重要であ
る」と言われている。

そこで、市長の教育に対
する基本的な考え方を問う。

答弁 教育は、子どもたち の可能性を信じ、家庭・地域・ 学校が連携し、人間性を豊 かに育てていくことが大切 である。

本市の課題は、他の地域
より学力が下回っているこ
とに端的に表れていると考
えている。何が原因なのか

を研究し、対応することが
必要である。また、人生の
ベースとなる幼児教育の充
実も進めたい。

さらには、子どもたちが
夢に向かって、それぞれス
イッチが入るような取り組
みを行つていきたい。

質問 健康寿命の延伸につ いて

人生100年時代と言わ
れて平均寿命は伸びておら
ず、健康寿命は伸びておら
ない。要介護の期間が長くなっ
てきている。

市長の所信表明にも「健
康寿命を延ばす取り組みを
強化する」とあるように、
本市の取り組みと市長の基
本的な考え方を問う。

ベントなどと連携を図ること
で生活習慣病予防の必要
性や重要性の認知度を高
め、特定検診の受診率向上
につなげていきたい。また、
高齢者に対する健康づくり
対策として、地域における
百歳体操や生きがい活動と
いった自主活動団体の支援、
普及に努めていく。

質問 国民健康保険制度の
現状と国保税の引き下げに
ついて

昨年度から国保制度が県
単位化され、自治体との共
同運営となつていて、そ
の現状を問う。

また、他の保険制度には
ない平等割や均等割がある

質問 幼児教育、保育無償
化について

昨年の9月議会でも取り
上げたが、そのときには不
確定な部分が多くあった。
そこで、実施を目前に控
えた現在、改めて内容を確
認するとともに、実費負担
となる給食費をはじめ懸念
される問題について問う。

人生100年時代と言わ
れて平均寿命は伸びておら
ず、要介護の期間が長くなっ
てきている。

市長の所信表明にも「健
康寿命を延ばす取り組みを
強化する」とあるように、
本市の取り組みと市長の基
本的な考え方を問う。

本年10月より保育費
用は無償化となるが、給食
費は保護者の負担となる。
給食費の徴収については、
施設が行なうこととなり、
現場の負担が懸念されるが、
市では保育現場及び保護者
への説明会を実施するなど、
できるだけ混乱のないよう
周知に努めていく。

宮園祐美子議員

質問 国保税については、来年
度の県納付金や今後の医療
費などの推移を勘案しながら
検討していく。

質問 自治体における子育
て応援アプリの推進につい
て

子育て世帯の家族形態や
就業形態が多様化する中、
様々な子育て支援が求めら
れているが、子育て世代の
多くが利用するスマート
フォンを活用して気軽に情
報を得られるような仕組み
が必要である。また、災害
で母子手帳を紛失した際な
どにも対応が求められる。
そこで、スマートフォン

ために負担率が高くなつて
いるが、軽減ができないの
か。特に、子育て支援の觀
点から子どもの均等割の減
免を求める。

質問 現在、ホームページ
や市報の他に「のおがた子
育てガイド」の小冊子を活
用して子育て情報を提供し
てある。

今後は、本市のメール配
信「つながるのおがた」に
への負担軽減策の拡充・強
化など国庫負担の拡充を求
めている。



質問 自転車保険加入の促
進を求める取り組みについ
て

自転車が原因により歩行
者が死傷した事故のうち、
保険に入っていた自転車
は、平成29年では約6割に
どどまつていて。保険に未
加入であるために高額な賠
償金を払うことことができ
ない場合、被害者は十分な補償
を受けることができない。

そこで、保険の加入につ
いて自転車販売店が購入者

向けて子育て応援アプリの導
入について問う。

へ、また、学校が自転車通学生の保護者に声かけすることはどうできないのかを問う。

答弁 市として自転車損害賠償保険の加入促進の啓発を行うとともに、各学校では自転車通学生の家庭へ自転車保険の加入をお願いしている。

今後もこの保険の加入促進の取り組みをはじめ、販売事業者への働きかけや声かけなど交通安全活動の推進を図っていく。

質問 子どもたちの安全確保について

答弁 今年度より予定された県道21号福岡直方線の工事について、境口鴨生田線の今後も踏まえ、市の方向性について問う。

在校中の児童の列に車が突っ込み、児童が犠牲になるという痛ましい事故が相次いでいる。子どもの尊い命を守るために通学路の安全確保や校内・校外の危険箇所の改善など早急に安全対策を強化する必要がある。

そこで、子どもたちへの安全対策の現状と今後について問う。

答弁 県の区間延伸の提案に対し、市の財政負担の増加を理由に回答を一時保留したもの、昨年度、県で事業認可を取得してもらつた。早急な整備が必要なため、市長からも国土整備事務所長に対して整備促進の要望を行つたところであり、早期の整備に向け、市としても協力していきたい。

答弁 中心市街地の活性化に寄与できるよう、従来の予定地であつた西鉄バスセンターの跡地を含め、駅周辺での立地の可能性を探つてみたいので、もうしばらく時間をいただきたい。



を作成している。また、組織的かつ迅速に対応できるよう各種研修を実施している。

今後も、事件・事故の未然防止及び事故発生後の再発防止の取り組みを進め、子どもの安全対策の充実に努めたい。

質問 県道21号福岡直方線の今後の予定について

JR高架下の道路は極めて狭いために周辺住民は危険にさらされている。

勘六橋の架け替え工事を終え、その接続道路である

JR高架下の道路は極めて狭いために周辺住民は危険にさらされている。

今年度より予定された

た県道21号福岡直方線の工事について、境口鴨生田線

の今後も踏まえ、市の方向性について問う。

今年度より予定され

た保健福祉センター基本構

想案では、現中央公民館の敷地を建設予定地としている。この基本構想について

は、5月に市民の声を聞くためのパブリックコメントを実施する予定であったが、新市長による見直しの意向があるため未公表となつて

いる。

より議会の様子をお知らせ

していますが、詳細な会議

録もホームページからご覧いただけます。また、図書

館にも備えてありますので、ぜひ、ご覧ください。

※会議録は、次の定例会の

約2週間に前に公開されます。

答弁 本年3月末に完成した保健福祉センター基本構想案では、現中央公民館の敷地を建設予定地としていた。この基本構想について

は、5月に市民の声を聞くためのパブリックコメントを実施する予定であったが、新市長による見直しの意向があるため未公表となつて

いる。

より議会の様子をお知らせ

していますが、詳細な会議

録もホームページからご覧いただけます。また、図書

館にも備えてありますので、ぜひ、ご覧ください。

※会議録は、次の定例会の

約2週間に前に公開されます。

質問 (仮称) 保健福祉センター建設に係る進捗状況と今の方針について

昨年3月議会に一般質問を行つて以降、現在の進捗状況について問うとともに、市長は所信表明において、

中心市街地の活性化に寄与できるように駅周辺への立地の可能性を探ると言つて

いるが、具体的な案はあるのかを問う。

本市ホームページの「お役立ちコーナー」または、直方市議会をクリックしていただき、「インターネットネット中継」よりご覧ください。

※録画放映は、議会当日終了後から1週間程度かかります。

議会閉会後には、本紙により議会の様子をお知らせしていますが、詳細な会議録もホームページからご覧いただけます。また、図書館にも備えてありますので、ぜひ、ご覧ください。

※会議録は、次の定例会の

約2週間に前に公開されます。

ぜひ、議会の様子
をご覧ください

令和元年9月定例会日程

9月13日(金) 提案説明

14日(土) 休会(休日)

15日(日) 休会(休日)

16日(月) 休会(休日)

17日(火) 一般質問

～

20日(金) 一般質問

21日(土) 休会(休日)

22日(日) 休会(休日)

23日(月) 休会(休日)

24日(火) 休会(議案考査)

25日(水) 質疑

26日(木) 休会(議案考査)

27日(金) 質疑

28日(土) 休会(休日)

29日(日) 休会(休日)

30日(月) 委員会

～

～

～

～

～

～

～

～

～

～

～

～

～

～

～

～

～

～

～

～

～

～

～